

③ “臨床研究・治験”の経過・結果に関して			
試験の途中経過がわかる（例：効果が出ているか）	必要	わからない	不必要
試験の結果がわかる（例：実際に認可されたのか）	必要	わからない	不必要
試験参加後のサポートがある（例：健康相談など）	必要	わからない	不必要

その他必要と思われるもの

（ ）

問 20 “臨床研究・治験”についての教育を受ける機会があるとすれば、いつ頃受けることができると良いと思われますか（複数回答可）。

1. 学校教育で（義務教育）
2. 高等学校・大学で
3. 市民講座など生涯学習として
4. 病院などで必要と感じた時に
5. その他（ ）

一般に副作用や実験的なイメージが強いとされる“臨床研究・治験”ですが、すでに販売されている薬を少し改善する（例えば、飲みやすいように剤形を検証する）など身近な試験が含まれていたり、使用中の薬がご自身に効果がないときに新しい薬を試すといった治療の選択肢にもなること、また治験により新薬や医療機器が認可されることで将来の患者さんの役に立つといったメリットもあります。

問 21 今後、ご自分の病気の治療中に“臨床研究・治験”で開発・評価中の薬剤や治療法がある場合、試験に参加してみたいと思われませんか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

問 22 “臨床研究・治験”に関する情報提供の在り方について、何かご意見がございましたらご自由にお書きください。

V 最後に、ご自身についてお伺いします。

問 23 あなたの性別をお選びください。

1. 男性
2. 女性

問 24 あなたの年齢をお選びください。

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60代
6. 70代
7. 80代以上

問 25 現在、治療中の病気をお答えください。

（ ）

問 26 現在、患者会に入会中の方は以下に名称をご記入ください。

（ ）

問 27 あなたのご職業をお選びください。

1. 自営業
2. 会社員
3. 公務員
4. 専業主婦
5. 学生
6. 無職
7. その他（ ）

問 28 世帯収入をお選びください。

1. 300万円未満
2. 300万-500万円未満
3. 500万-800万円未満
4. 800万円-1000万円未満
5. 1000万円以上

問 29 最終学歴をお選びください。

1. 中学校
2. 高等学校
3. 短大・専修学校
4. 大学・大学院
5. その他（ ）

— 質問は以上です。ご協力をありがとうございました。未記入がないかもう一度ご確認ください、同封の返信用封筒にてご投函ください。

「臨床研究・治験」における情報ニーズについてのアンケート調査のお願い

国立保健医療科学院
政策技術評価研究部長
佐藤 元

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび厚生労働省国立保健医療科学院では、「臨床研究・治験に関する意識調査」を行う運びとなりました。本調査は、厚生労働科学研究費補助金・医療技術実用化総合研究事業（臨床研究基盤推進研究事業）「国民・患者への臨床研究・治験の普及啓発に関する研究」（研究代表者 厚生労働省 国立保健医療科学院 政策技術評価研究部長 佐藤 元）の一環として行うもので、国民の皆様が臨床試験・治験について求める情報の実態、ならびに、情報提供のあり方を検討することを目的としております。趣旨をご理解の上ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

また、ご回答頂きました調査票は同封の返信用封筒に入れ、平成 25 年 2 月〇日（〇）までに御返送下さいませようお願い申し上げます。なお、返送先は国立保健医療科学院 政策技術評価研究部となっております。

敬具

—ご記入にあたってのお願い—

- ・ご回答は、黒のボールペンまたは鉛筆を使用して、質問用紙にご記入をお願いします。
- ・質問用紙は全部で 8 ページあります。あてはまる答えの数字を丸で囲んで下さい。
- ・無記名での回答ですので、忌憚（きたん）の無い御意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス：<http://www.niph.go.jp/soshiki/O6seisaku/ctportal.html>

アンケート返送期限：2013 年 2 月〇日（必着）

【問合せ先】

国立保健医療科学院政策技術評価研究部
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
電話：048-458-6311・6223
FAX：048-469-3875
メールアドレス：portal-info@niph.go.jp
担当：野口 都美・中尾 裕之

この質問紙は、Ⅰ.一般的な医療情報の入手について Ⅱ.臨床研究・治験に関する体制および情報の入手について Ⅲ.望ましい情報提供の在り方についてのお考え Ⅳ.ご職種など、をお伺いします。お忙しいなか大変恐縮ですが、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

Ⅰ 一般的な医療情報の入手についてお伺いします。

問 1 普段、一般的な医療情報をどこから得ていますか（複数回答可）。

1. 知り合いの医師・看護師・薬剤師など医療職
2. 加入している学会や研究会
3. 製薬会社の MR
4. 医学系の専門誌
5. Medline などで検索した論文
6. インターネット
7. その他（ ）



（ 6.インターネットと答えた方はお答えください。それ以外の方は問 3 へ。）

問 2. それはどのようなウェブサイトですか（複数回答可）。

1. 一般的な検索エンジン（Google, Yahoo!など）から検索して
2. 自施設の医療機関ウェブサイト
3. 他施設の医療機関ウェブサイト
4. ナショナルセンターなど積極的に情報を行っている医療機関ウェブサイト
5. 製薬会社のウェブサイト
6. その他（ ）

問 3 医療情報を収集する目的は何ですか（複数回答可）。

1. 診療している患者の治療方法や処方薬の情報を得るため
2. 疾患・治療・薬剤等に関する一般的な情報を得るため
3. 疾患・治療・薬剤等に関する最新の情報を得るため
4. 他施設等での状況を把握するため
5. 患者がどのように考えているかを知るため
6. 他の医療関係者がどのように考えているかを知るため
7. その他（ ）

Ⅱ 臨床研究・治験に関する体制および情報の入手についてお伺いします。

問 4 これまで臨床研究・治験を実施または参加されたことはありますか。

1. はい ⇒問 6 へ
2. いいえ ⇒問 5 へ

問 5 今後、臨床研究・治験を実施または参加したいと思われませんか。

1. はい ⇒問 6 へ
2. いいえ ⇒問 7 へ

問 6 臨床研究・治験を実施した（してみたい）インセンティブは何ですか。

1. 医学の発展など学術的な意義があるから
2. 最新の知見を得ることができるから

3. 患者さんの治療のため
4. 研究費を得ることができるから
5. 論文発表などが業績になるから
6. 研究支援体制があるから
7. その他（ ）

問 7 臨床研究・治験を実施しない（したくない）理由は何ですか。

1. 時間がないから・忙しいから
2. 実験的な側面に不安があるから
3. 自分の専門分野での臨床研究・治験がないから
4. 評価されないから
5. 必要性を感じないから
6. その他（ ）

問 8 貴院において臨床研究・治験の教育・研修の機会がありますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

問 9 貴院では臨床研究・治験の支援体制はありますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

問 10 臨床研究・治験に関して情報収集をしたご経験はありますか。

1. はい
2. いいえ ⇒ 問 14 へ



問 11. それらの情報を収集する目的は何でしたか（複数回答可）。

1. 臨床試験情報を網羅的に収集するため
2. 最新の治療方法の試験動向について知るため
3. 新薬の情報を得るため
4. 他施設で実施されている臨床試験情報を収集し患者さんへ参加を勧めるため
5. 患者さんへ提供する知識・情報を収集するため
6. その他（ ）

問 12 それらの情報をどこから情報を得ましたか。

1. 知り合いの医師・看護師・薬剤師など医療職
2. 加入している学会や研究会
3. 製薬会社の MR
4. 医学系の専門誌
5. Medline など検索した論文
6. インターネット
7. その他（ ）



（ 6.インターネットと答えた方は問 13 へ。それ以外の方は問 14 へ。）

問 13. それはどのようなウェブサイトですか（複数回答可）。

1. 一般的な検索エンジン（Google, Yahoo!など）から検索して
2. 自施設の医療機関ウェブサイト
3. 他施設の医療機関ウェブサイト
4. ナショナルセンターなど積極的に情報提供している医療機関ウェブサイト
5. 製薬会社のウェブサイト
6. その他（ ）

問 14 臨床研究・治験に関するポータルサイトにアクセスしたご経験はありますか。

1. はい
2. いいえ ⇒ 問 20 へ



問 15 それはどのような機関の臨床研究・治験ポータルサイトですか。

1. 政府が提供しているポータルサイト
2. 国内の医療機関が提供しているポータルサイト
3. 国立がん研究センターが提供しているポータルサイト
4. 日本医師会が提供しているポータルサイト
5. JAPIC が提供しているポータルサイト
6. UMIN が提供しているポータルサイト
7. 国立保健医療科学院が提供しているポータルサイト
8. 海外の機関が提供するポータルサイト（名称： ）
9. その他（具体的な名称： ）

問 16 そのポータルサイトへのアクセス頻度はどのくらいですか。

1. 週に 1 回以上
2. 月に 1 回程度
3. 2-3 ヶ月に 1 回程度
4. その他（ ）

問 17 そのポータルサイトを閲覧する目的は何でしたか（複数回答可）。

1. 臨床試験情報を網羅的に収集するため
2. 最新の治療方法の試験動向について知るため
3. 新薬の情報を得るため
4. 他施設で実施されている臨床試験情報を収集し患者さんへ参加を勧めるため
5. 患者さんへ提供する知識・情報を収集するため
6. その他（ ）

問 18 上記の閲覧目的は達成されましたか。

1. はい ⇒ 問 20 へ
2. いいえ



問 19 その理由をお答え下さい。

1. 知りたいと思う臨床研究・治験情報が提供されていなかった
2. 知りたいと思う臨床研究・治験情報が検索できなかった
3. サイトのデザインや構成がわかりにくかった
4. その他（ ）

5. その他（ ）

問 26 臨床研究・治験の情報だけでなく、一般的な医療情報も含めた情報アーカイブについて
お伺いします。情報の蓄積とその扱いはどのようにあるべきと思われますか。

1. 各実施機関が各々に医療情報をアーカイブし、特に共有等はない
2. 各実施機関が各々に医療情報をアーカイブし、必要に応じて共有する
3. 特定の機関が一元的に医療情報をアーカイブし、各機関はリンク等で共有する
4. 特定の機関が一元的に医療情報をアーカイブし、各機関のリンクはなくて良い
5. その他（ ）

問 27 臨床研究・治験情報を患者さんに提供する際に、提供を容易にする・質を保証する
（Quality Control）ために定まっていることが望ましいものはありますか（複数回答可）。

1. 臨床研究・治験情報提供を行う標準化された項目セットがあると良い
2. 臨床研究・治験情報提示のための規範やガイドラインがあると良い
3. 情報提供のツールキット、作成・実施ガイダンスがあると良い
4. 臨床研究・治験情報提供に対する標準化された評価法があると良い
5. その他（ ）

問 28 臨床研究・治験の参加者である患者さんに対する普及啓発として、どのような情報発信
が望ましいと思われますか。

1. 貴施設での情報発信（ホームページ・ポスター等で）
2. テレビ・新聞など信頼性の高いメディアによる宣伝
3. 政府などによる普及・啓発
4. インターネットでの情報発信（ウェブサイト・ポータルサイト等）
5. 学校教育・生涯学習での教育による普及・啓発
6. その他（ ）

問 29 臨床研究・治験についての教育機会について、患者さんはいつ頃受けることができ
ると良いと思われますか。

1. 学校教育で（義務教育）
2. 高等学校・大学
3. 市民講座など生涯学習
4. 病院などで必要と感じた時に
5. その他（ ）

問 30 臨床研究・治験に関する情報提供について、ご意見がございましたらご自由にお書き
ください。

Ⅳ 最後に、ご自身についてお伺いします。

問 31 あなたの性別をお選びください。

1. 男性
2. 女性

問 32 あなたの年齢をお選びください。

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60代
6. 70代
7. 80代以上

問 33 あなたの職種をご記入ください。（複数回答可）

1. 医師
2. 看護師
3. 薬剤師
4. 技師
5. CRC
6. 生物統計家
7. データマネージャー
8. 倫理審査委員
9. その他（ ）

問 34 貴院の診療体制についてお尋ねします。

1. 外来のみ
2. 入院施設あり
→病床数は
1. 20床未満
2. 20床-100床未満
3. 100床-300床未満
5. 300床以上

— 質問は以上です。ご協力を賜り、有り難う御座いました。未記入がないかもう一度ご確認い
ただき、同封の返信用封筒にてご投函ください。

「臨床研究・治験」における情報ニーズについてのアンケート調査のお願い

国立保健医療科学院
政策技術評価研究部長
佐藤 元

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび厚生労働省国立保健医療科学院では、「臨床研究・治験に関する意識調査」を行う運びとなりました。本調査は、厚生労働科学研究費補助金・医療技術実用化総合研究事業（臨床研究基盤推進研究事業）「国民・患者への臨床研究・治験の普及啓発に関する研究」（研究代表者 厚生労働省 国立保健医療科学院 政策技術評価研究部長 佐藤 元）の一環として行うもので、国民の皆様が臨床試験・治験について求める情報の実態、ならびに、情報提供のあり方を検討することを目的としております。趣旨をご理解の上ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

また、ご回答頂きました調査票は同封の返信用封筒に入れ、平成 25 年 2 月〇日（〇）までに御返送下さいませようお願い申し上げます。なお、返送先は国立保健医療科学院 政策技術評価研究部となっております。

敬具

—ご記入にあたってのお願い—

- ・ご回答は、黒のボールペンまたは鉛筆を使用して、質問用紙にご記入をお願いします。
- ・質問用紙は全部で 10 ページあります。あてはまる答えの数字を丸で囲んで下さい。
- ・無記名での回答ですので、忌憚（きたん）の無い御意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス：<http://www.niph.go.jp/soshiki/O6seisaku/ctportal.html>

アンケート返送期限：2013 年 2 月〇日（必着）

【問合せ先】

国立保健医療科学院政策技術評価研究部
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
電話：048-458-6311・6223
FAX：048-469-3875
メールアドレス：portal-info@niph.go.jp
担当：野口 都美・中尾 裕之

この質問紙は、臨床情報および臨床研究・治験情報の取りまとめや提供（インターネット、パンフレット作成、教育・広報）に従事しておられる方を対象としています。質問構成は、Ⅰ. 一般的な医療情報の提供と入手について貴施設の体制 Ⅱ. 臨床研究・治験に関する情報の提供と入手についての体制 Ⅲ. 望ましい情報提供の在り方についてのお考え Ⅳ. ご職種など、についてお伺いします。お忙しいなか大変恐縮ですが、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

Ⅰ 一般的な医療情報の提供体制と入手についてお伺いします。

問 1 貴施設では、（臨床研究・治験以外の）一般的な医療情報の提供サービスを行っていますか。

1. はい 2. いいえ ⇒問 5 へ



問 2 それらの情報提供サービスの主な方法はですか（複数回答可）。

1. ポスターによる掲示 2. パンフレットを配布 3. ニュースレターを配布
4. メーリングリストでの情報配信 5. 自施設ウェブサイトでの情報発信
6. その他（ ）

問 3 それらの情報提供サービスの対象は誰ですか（複数回答可）。

1. 患者 2. 医師・薬剤師・CRC（自施設） 3. その他の医療職（自施設）
4. 他施設の医療関係者 5. その他（ ）

問 4 それらの情報提供サービスの内容と範囲をお答え下さい（複数回答可）。

1. 病気や治療・処方薬の一般的な医療情報の提供
2. 病気や治療・処方薬の一般的な教育教材の提供
3. 患者が自施設で受けることのできる治療の情報提供・宣伝
4. 患者が他施設で受けることのできる治療の情報提供・宣伝
5. 学会・研究会・シンポジウムなどの情報提供・宣伝
6. その他（ ）

問 5 貴施設では、一般的な医療情報の収集・提供を行う運営部門またはコンサルティング部門はありますか。

1. はい 2. いいえ

問 6 貴施設では、（臨床研究・治験以外の）一般的な医療情報の提供ウェブサイトをお持ちですか？

1. はい 2. いいえ ⇒問 8 へ



問 7 サイト運営に関して、スタッフと人数・方法についてお答えください。

【サイト運営スタッフ】

1. 医師：人数（ 人） 2. CRC：人数（ 人）
3. 他の医療職：人数（ 人） 4. 外部業者への発注など：人数（ 人）
5. 特定のスタッフはいない 6. その他（ ）

【サイト作成方法】

1. 基本的に内製 2. 非常勤スタッフが作成 3. 委託業者が作成
4. その他（ ）

問 8 普段、提供のための一般的な医療情報をどこから得ていますか（複数回答可）。

1. 知り合いの医師・看護師・薬剤師など医療職 2. 加入している学会や研究会
3. 製薬会社のMR 4. 医学系の専門誌 5. Medline など検索した論文
6. インターネット 7. その他（ ）



（問 8 で 6. インターネットと答えた方のみ、それ以外を答えた方は問 10 へ）

問 9 それはどのようなウェブサイトですか（複数回答可）。

1. 一般的な検索エンジン（Google, Yahoo! など）から検索したウェブサイト
2. 自施設の医療機関ウェブサイト 3. 他施設の医療機関ウェブサイト
4. ナショナルセンターなど積極的に情報を行っている医療機関のウェブサイト
5. 製薬会社のウェブサイト 6. その他（ ）

Ⅱ 臨床研究・治験に関する情報の提供体制と入手についてお伺いします。

問 10 貴施設では、臨床研究・治験に関する情報提供サービスを行っていますか。

1. はい 2. いいえ ⇒ 問 16 へ



問 11 それらの情報提供サービスの主な方法は何ですか（複数回答可）。

1. ポスターによる掲示 2. パンフレットを配布 3. ニュースレターを配布
4. メーリングリストでの情報配信 5. 自施設ウェブサイトでの情報発信
6. その他（ ）

問 12 それらの情報提供サービスの対象は誰ですか（複数回答可）。

1. 患者 2. 医師・薬剤師・CRC（自施設） 3. その他の医療職（自施設）
3. 他施設の医療関係者 4. その他（ ）

問 13 それらの情報提供サービスの目的は何ですか（複数回答可）。

- 1 臨床研究・治験に関する一般的な知識・情報の提供

2. 臨床研究・治験に関する実施状況一覧の提供

3. その他（ ）

問 15 それらの情報提供サービスの範囲はどの程度までを想定されていますか。

1. 患者が自施設で受けることのできる臨床研究・治験の情報提供
2. 患者が他施設で受けることのできる臨床研究・治験の情報提供
3. その他（ ）

問 16 貴施設では、臨床研究・治験に関する情報の収集・提供を行う運営部門やコンサルティング部門はありますか。

1. はい 2. 一般の医療情報と同じ部門が担当 3. いいえ

問 17 貴施設では、臨床研究・治験に関する情報提供ウェブサイトをお持ちですか？

1. はい 2. 一般の医療情報と同じ部門が担当 3. いいえ ⇒ 問 22 へ



問 18 ウェブサイト運営に関して、スタッフと人数・方法についてお答えください。

【サイト運営スタッフ】

1. 医師：人数（ 人） 2. CRC：人数（ 人）
3. 他の医療職：人数（ 人） 4. 外部業者への発注など：人数（ 人）
5. その他（ ）

【運営方法】

1. 基本的に内製 2. 非常勤スタッフが作成 3. 委託業者が作成
4. その他（ ）

問 19 ウェブサイト作成・運営方法に関して、参考にしたサイトや情報がございましたらお教え下さい。

[] [] []

問 20 ウェブサイトについて、利用者の方々からの評価（フィードバック）を得ておられますか。

1. はい 2. いいえ ⇒ 問 22 へ



問 21 どのような方法でフィードバックを得られていますか。

（ ）

問 40 臨床研究・治験の参加者である患者さんに対する普及啓発として、どのような情報発信が望ましいと思われますか。

1. 貴施設での情報発信（ホームページ・ポスター等で） 2. テレビ・新聞など信頼性の高いメディアによる宣伝 3. 政府などによる普及・啓発 4. インターネットでの情報発信（ウェブサイト・ポータルサイト等） 5. 学校教育・生涯学習での教育による普及・啓発 6. その他（ ）

問 41 臨床研究・治験についての教育機会について、患者さんはいつ頃受けることができると良いと思われますか。

1. 学校教育で（義務教育） 2. 高等学校・大学 3. 市民講座など生涯学習 4. 病院などで必要と感じた時に 5. その他（ ）

問 42 臨床研究・治験に関する情報提供について、ご意見がございましたらご自由にお書きください。

[]

IV 最後に、ご自身についてお伺いします。

問 43 あなたの性別をお選びください。

1. 男性 2. 女性

問 44 あなたの年齢をお選びください。

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代
5. 60代 6. 70代 7. 80代以上

問 45 あなたの職種をご記入ください。（複数回答可）

1. 医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. 技師 5. CRC 6. 生物統計家
7. データマネージャー 8. 倫理審査委員 9. その他（ ）

問 46 貴院の診療体制についてお尋ねします。

1. 外来のみ 2. 入院施設あり
→病床数は 1. 20床未満 2. 20床-100床未満
3. 100床-300床未満 5. 300床以上

問 47 貴院の病院形態をお選びください。

1. 国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター） 2. 国立病院機構付属病院
3. 大学病院 4. 日本医師会治験ネットワーク加盟施設
4. その他（ ）

— 質問は以上です。ご協力を賜り、有り難う御座いました。未記入がないかもう一度ご確認ください。同封の返信用封筒にてご投函ください。

「臨床研究・治験」における情報ニーズについてのアンケート調査のお願い

国立保健医療科学院
政策技術評価研究部長
佐藤 元

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび厚生労働省国立保健医療科学院では、「臨床研究・治験に関する意識調査」を行う運びとなりました。本調査は、厚生労働科学研究費補助金・医療技術実用化総合研究事業（臨床研究基盤推進研究事業）「国民・患者への臨床研究・治験の普及啓発に関する研究」（研究代表者 厚生労働省 国立保健医療科学院 政策技術評価研究部長 佐藤 元）の一環として行うもので、国民の皆様が臨床試験・治験について求める情報の実態、ならびに、情報提供のあり方を検討することを目的としております。趣旨をご理解の上ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

また、ご回答頂きました調査票は同封の返信用封筒に入れ、平成 25 年 2 月〇日（〇）までに御返送下さいませお願い申し上げます。なお、返送先は国立保健医療科学院 政策技術評価研究部となっております。

敬具

—ご記入にあたってのお願い—

- ・ご回答は、黒のボールペンまたは鉛筆を使用して、質問用紙にご記入をお願いします。
- ・質問用紙は全部で 7 ページあります。あてはまる答えの数字を丸で囲んで下さい。
- ・無記名での回答ですので、忌憚（きたん）の無い御意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス：<http://www.niph.go.jp/soshiki/O6seisaku/ctportal.html>

アンケート返送期限：2013 年 2 月〇日（必着）

【問合せ先】

国立保健医療科学院政策技術評価研究部
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
電話：048-458-6311・6223
FAX：048-469-3875
メールアドレス：portal-info@niph.go.jp
担当：野口 都美・中尾 裕之

この質問紙は、製薬企業において主に研究・開発に携わっておられる方を対象としています。質問構成は、Ⅰ. ご職種 Ⅱ. 治験に関する情報の入手について Ⅲ. 治験の望ましい情報提供の在り方について Ⅳ. 一般的な医療情報の入手についてお伺いします。お忙しいなか大変恐縮ですが、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

Ⅰ ご自身についてお伺いします。

問 1 あなたの性別をお選びください。

1. 男性 2. 女性

問 2 あなたの年齢をお選びください。

1. 20 代 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代
5. 60 代 6. 70 代 7. 80 代以上

問 3 あなたの職種をご記入ください。（複数回答可）

1. 研究 2. 開発 3. その他（ ）

問 4 貴社の事業規模（社員数）をお選び下さい。

1. 100 人未満 2. 100 人以上 500 人未満 3. 500 人以上 1,000 人未満
4. 1,000 人以上 3,000 人未満 6. 3,000 人以上
7. その他（ ）

Ⅱ 治験に関する情報の入手についてお伺いします。

問 5 普段、治験情報をどこから得ていますか（複数回答可）。

1. 知り合いの医師・看護師・薬剤師など医療職 2. 加入している学会や研究会
3. 貴社の MR 4. 医学系の専門誌 5. Medline などで検索した論文
6. インターネット 7. その他（ ）



（6. インターネットと答えた方のみ問 6 ハ、それ以外を答えた方は問 7 ハ）

問 6 それはどのようなウェブサイトから情報収集を行いますか（複数回答可）

1. 一般的な検索エンジン（Google, Yahoo! など）から検索して
2. 医療機関ウェブサイト 3. ナショナルセンターなど積極的に情報を行っている医療機関ウェブサイト 4. 貴社および他の製薬会社のウェブサイト
5. その他（ ）

問 7 治験に関するポータルサイトにアクセスしたご経験はありますか。

1. はい 2. いいえ ⇒ 問 13 ハ



問 8 それはどのような機関の治験ポータルサイトですか。

1. 政府が提供しているポータルサイト 2. 国内の医療機関が提供しているポータルサイト 3. 国立がん研究センターが提供しているポータルサイト
4. 日本医師会が提供しているポータルサイト 5. JAPIC が提供しているポータルサイト 6. UMIN が提供しているポータルサイト 7. 国立保健医療科学院が提供しているポータルサイト
8. 海外の機関が提供するポータルサイト（名称： _____ ）
9. その他（具体的な名称： _____ ）

問9 そのポータルサイトへのアクセス頻度はどのくらいですか。

1. 週に1回以上 2. 月に1回程度 3. 2-3ヶ月に1回程度
4. その他()

問 10 そのポータルサイトを閲覧する目的は何でしたか（複数回答可）。

1. 臨床試験情報を網羅的に収集するため
2. 最新の治療方法の試験動向について知るため
3. 新薬の情報を得るため
4. その他（ ）

問 11 上記の閲覧目的は達成されましたか。

1. はい ⇒問 13へ 2. いいえ



問 12 その理由をお答え下さい。

1. 知りたいと思う治験情報が提供されていなかった
2. 知りたいと思う治験情報が検索できなかった
3. サイトのデザインや構成がわかりにくかった
4. その他()

Ⅲ 治験に關しての今後の望ましい情報提供のあり方についてお伺いします。

問 13 実施されている治験情報の医療関係者（医師・CRC など）への提供方法はどのように行われるのがよいと考えられますか（複数回答可）。

1. ウェブサイトによる提供 2. 配布物などによる提供 3. 口頭による提供
4. 特に情報提供の必要性を感じない 5. その他（ ）

問 14 実施されている治験情報の研究者・開発者などへの提供方法はどのように行われるのがよいと考えられますか（複数回答可）。

1. ウェブサイトによる提供 2. 配布物などによる提供 3. 口頭による提供
4. 特に情報提供の必要性を感じない 5. その他()

問 15 実施されている治験情報をウェブサイト等で専門家（医療関係者・研究者・開発者）向けに提供するにあたって、次の各項目が貴社サイト等で導入済みかどうかお答え下さい。貴社サイトで未導入の場合は、それらの項目が必要かお答え下さい。また、その他必要と思われるものがあればご記入下さい。

① 実施情報の検索				
専門用語による検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
英語など多言語による検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
② 参加できる「治験」の検索				
地域検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
病院検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
特定疾患情報の検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
患者の適格基準の検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
③「治験」の内容に関して				
患者への倫理的な配慮	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
患者の費用負担	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
副作用などのリスク	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
④「治験」の経過・結果に関して				
試験の途中経過	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
試験の結果	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
参加後のフォロー	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）

その他必要と思われるもの

問 16 実施されている治験に関して患者さんやその家族への情報提供方法はどのように行われるのがよいと考えられますか（複数回答可）。

1. ウェブサイトによる提供 2. 配布物などによる提供 3. 口頭による提供
4. 特に情報提供の必要性を感じない 5. その他()

問 17 実施されている治験の情報をウェブサイト等で患者さん向けに提供するにあたって次の各項目が貴社サイト等で導入済みかどうかお答え下さい。貴社サイトで未導入の場合は、それらの項目が必要かお答え下さい。また、その他必要と思われるものがあればご記入下さい。

① 実施情報の検索				
専門用語による検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
英語など多言語による検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
② 参加できる「治験」の検索				
地域検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
病院検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
特定疾患情報の検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
患者の適格基準の検索	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
③「治験」の内容に関して				
患者への倫理的な配慮	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
患者の費用負担	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
副作用などのリスク	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
④「治験」の経過・結果に関して				
試験の途中経過	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
試験の結果	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）
参加後のフォロー	導入済み	未導入⇒（今後必要	今後也不必必要	何ともいえない）

その他必要と思われるもの

（ ）

問 18 実施されている治験に関する情報をウェブサイトによって提供を行う場合、どこが主体的に情報提供を行うのが望ましいと考えますか（複数回答可）。

1. 各実施医療機関 ⇒問 20 へ
2. 病院機構・日赤・医療法人などの医療グループの本部
3. 国立医療研究機関
4. 製薬企業
5. 学会や学術団体
6. 国・地方公共団体
7. PMDA（医薬品・医療機器の品質評価を行う政府機関）
8. その他（ ）



（※回答 1 以外を選択した方のみ）

問 19 貴社の情報提供サイトとはどのように関連を持たせればよいでしょうか。

1. 外部組織（国・研究所・学術団体・その他）などで単一に情報を集約し、貴社ではそこにリンクを張る
2. 外部組織で作成された情報ページを、各機関がミラーとして管理する
3. 外部組織で作成された情報を、各機関で独自に加工して提供する
4. 外部組織とは独立して、各機関で必要な情報だけを独自に作成・提供する
5. その他（ ）

問 20 治験の情報だけでなく、一般的な医療情報も含めた情報アーカイブについてお伺いしま

す。情報の蓄積とその扱いはどのようにあるべきと思われますか。

1. 各実施機関が各々に医療情報をアーカイブし、特に共有等はない
2. 各実施機関が各々に医療情報をアーカイブし、必要に応じて共有する
3. 特定の機関が一元的に医療情報をアーカイブし、各機関はリンク等で共有する
4. 特定の機関が一元的に医療情報をアーカイブし、各機関のリンクはなくて良い
5. その他（ ）

問 21 治験情報を患者さんに提供する場合に、提供を容易にする・質を保証する（Quality Control）ために定まっていることが望ましいものはありますか（複数回答可）。

1. 治験情報提供を行う標準化された項目セットがあると良い
2. 治験情報提示のための規範やガイドラインがあると良い
3. 情報提供のツールキット、作成・実施ガイダンスがあると良い
4. 治験情報提供に対する標準化された評価法があると良い
5. その他（ ）

問 22 被験者である患者さんへの治験の結果のフィードバックは、行うべきとお考えですか？

1. はい
2. いいえ ⇒問 24 へ



（※回答 1 を選択した方のみ）

問 23 下記の各々の情報について、被験者へのフィードバックについて行うべきと思われるものをお選びください（複数選択可）。

1. 参加者数および割り付け結果
2. 各被験者の有効性成績
3. 全体としての有効性成績
4. 治験で発生した副作用とその頻度
5. 治験の結論（目的通りの結論が得られたか否か）
6. 承認取得・発売時期の見込み
7. その他（ ）

問 24 治験の参加者である患者さんに対する普及啓発として、どのような情報発信が望ましいと思われますか。

1. 貴社での情報発信（ホームページ・ポスター等で）
2. テレビ・新聞など信頼性の高いメディアによる宣伝
3. 政府などによる普及・啓発
4. インターネットでの情報発信（ウェブサイト・ポータルサイト等）
5. 学校教育・生涯学習での教育による普及・啓発
6. その他（ ）

問 25 治験についての教育機会について、患者さんはいつ頃受けることができると良いと思

われますか。

1. 学校教育で（義務教育）
2. 高等学校・大学
3. 市民講座など生涯学習
4. 病院などで必要と感じた時に
5. その他（ ）

問 26 治験に関する情報提供について、ご意見がございましたらご自由にお書きください。

IV 最後に、一般的な医療情報の入手についてお伺いします。

問 27 普段、一般的な医療情報（自社製品に関する疾患・治療情報等）をどこから得られていますか（複数回答可）。

1. 知り合いの医師・看護師・薬剤師など医療職
2. 加入している学会や研究会
3. 貴社の MR
4. 医学系の専門誌
5. Medline などで検索した論文
6. インターネット
7. その他（ ）



（ 6.インターネットと答えた方はお答えください。それ以外の方は問 29 へ。）

問 28. それはどのようなウェブサイトですか（複数回答可）。

1. 一般的な検索エンジン（Google, Yahoo!など）から検索して
2. 医療機関ウェブサイト
3. ナショナルセンターなど積極的に情報を行っている医療機関ウェブサイト
4. 貴社および他の製薬会社のウェブサイト
5. その他（ ）

問 29 医療情報を収集する目的は何ですか（複数回答可）。

1. 開発中の医薬品に関わる科学的な内容を得るため
2. 開発中の医薬品に関わる他社の開発状況等を知るため
3. 医学全般の最新の情報を得るため
4. その他（ ）

— 質問は以上です。ご協力を賜り、有り難う御座いました。未記入がないかもう一度ご確認ください。いただき、同封の返信用封筒にてご投函ください。

「臨床研究・治験」における情報ニーズについてのアンケート調査のお願い

国立保健医療科学院
政策技術評価研究部長
佐藤 元

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび厚生労働省国立保健医療科学院では、「臨床研究・治験に関する意識調査」を行う運びとなりました。本調査は、厚生労働科学研究費補助金・医療技術実用化総合研究事業（臨床研究基盤推進研究事業）「国民・患者への臨床研究・治験の普及啓発に関する研究」（研究代表者 厚生労働省 国立保健医療科学院 政策技術評価研究部長 佐藤 元）の一環として行うもので、国民の皆様が臨床試験・治験について求める情報の実態、ならびに、情報提供のあり方を検討することを目的としております。趣旨をご理解の上ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

また、ご回答頂きました調査票は同封の返信用封筒に入れ、平成 25 年 2 月 0 日（〇）までに御返送下さいませようお願い申し上げます。なお、返送先は国立保健医療科学院 政策技術評価研究部となっております。

敬具

—ご記入にあたってのお願い—

- ご回答は、黒のボールペンまたは鉛筆を使用して、質問用紙にご記入をお願いします。
- 質問用紙は全部で 10 ページあります。あてはまる答えの数字を丸で囲んで下さい。
- 無記名での回答ですので、忌憚（きたん）の無い御意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス：<http://www.niph.go.jp/soshiki/O6seisaku/ctportal.html>

アンケート返送期限：2013 年 2 月 0 日（必着）

【問合せ先】

国立保健医療科学院政策技術評価研究部
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
電話：048-458-6311・6223
FAX：048-469-3875
メールアドレス：portal-info@niph.go.jp
担当：野口 都美・中尾 裕之

この質問紙は、製薬企業において主に研究・開発に携わっておられる方を対象としています。
質問構成は、Ⅰ. ご職種 Ⅱ. 治験に関する情報の提供体制と入手について Ⅲ. 治験の望ましい
情報提供の在り方について Ⅳ. 一般的な医療情報の提供体制と入手についてお伺いします。お
忙しいなか大変恐縮ですが、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

Ⅰ ご自身についてお伺いします。

問 1 あなたの性別をお選びください。

1. 男性 2. 女性

問 2 あなたの年齢をお選びください。

1. 20 代 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代
5. 60 代 6. 70 代 7. 80 代以上

問 3 あなたの職種をご記入ください。（複数回答可）

1. MR 2. 広報 3. 安全性担当 4. その他（ ）

問 4 貴社の事業規模（社員数）をお選び下さい。

1. 100 人未満 2. 100 人以上 500 人未満 3. 500 人以上 1,000 人未満
4. 1,000 人以上 3,000 人未満 6. 3,000 人以上
7. その他（ ）

Ⅱ 治験に関する情報の提供体制と入手についてお伺いします。

問 5 貴社では、治験に関する情報提供サービスを行っていますか。

1. はい 2. いいえ ⇒問 9 へ



問 6 それらの情報提供サービスの主な方法は何ですか（複数回答可）。

1. ポスターによる掲示 2. パンフレットを配布 3. ニュースレターを配布
4. メーリングリストでの情報配信 5. 貴社ウェブサイトでの情報発信
6. その他（ ）

問 7 それらの情報提供サービスの対象は誰ですか（複数回答可）。

1. 貴社社員 2. 患者 3. 医師・薬剤師・CRC 3. その他の医療職
5. その他（ ）

問 8 それらの情報提供サービスの目的は何ですか（複数回答可）。

- 1 治験に関する一般的な知識・情報の提供

2. 治験に関する実施状況の提供

3. その他（ ）

問 9 貴社では、治験に関する情報の収集・提供を行う運営部門やコンサルティング部門はありますか。

1. はい 2. いいえ

問 10 貴社では、治験に関する情報提供ウェブサイトをお持ちですか？

1. はい 2. いいえ ⇒問 12 へ



問 11 サイト運営に関して、スタッフと人数・方法についてお答えください。

【サイト運営スタッフ】

1. 社内運営スタッフ：人数（ ）人
2. 外部業者への発注などによる運営：人数（ ）人
3. その他（ ）

【サイト作成方法】

1. 貴社社員が作成
2. 委託業者が作成
3. その他（ ）

問 12 普段、提供のための治験情報をどこから得ていますか（複数回答可）。

1. 知り合いの医師・看護師・薬剤師など医療職
2. 加入している学会や研究会
3. 医学系の専門誌
4. Medline などで検索した論文
5. インターネット
6. その他（ ）



（5.インターネットと答えた方のみ、それ以外を答えた方は問 14 へ）

問 13 それはどのようなウェブサイトから情報収集を行いますか（複数回答可）

1. 一般的な検索エンジン（Google, Yahoo!など）から検索して
2. ナショナルセンターなど積極的に情報を行っている医療機関ウェブサイト
3. 他の医療機関ウェブサイト
4. 他社（製薬企業）のウェブサイト
6. その他（ ）

問 14 治験に関するポータルサイトにアクセスしたご経験はありますか。

1. はい 2. いいえ ⇒問 20 へ



問 15 それはどのような機関の治験ポータルサイトですか。

1. 政府が提供しているポータルサイト
2. 国内の医療機関が提供しているポ

ータルサイト 3. 国立がん研究センターが提供しているポータルサイト

4. 日本医師会が提供しているポータルサイト 5. JAPIC が提供しているポータルサイト 6. UMIN が提供しているポータルサイト 7. 国立保健医療科学院が提供しているポータルサイト

8. 海外の機関が提供するポータルサイト（名称： ）

9. その他（具体的な名称： ）

問 16 そのポータルサイトへのアクセス頻度はどのくらいですか。

1. 週に 1 回以上
2. 月に 1 回程度
3. 2-3 ヶ月に 1 回程度
4. その他（ ）

問 17 そのポータルサイトを閲覧する目的は何でしたか（複数回答可）。

1. 臨床試験情報を網羅的に収集するため
2. 最新の治療方法の試験動向について知るため
3. 新薬の情報を得るため
4. 患者さんへ提供する知識・情報を収集するため
6. その他（ ）

問 18 上記の閲覧目的は達成されましたか。

1. はい ⇒問 20 へ 2. いいえ



問 19 その理由をお答え下さい。

1. 知りたいと思う治験情報が提供されていなかった
2. 知りたいと思う治験情報が検索できなかった
3. サイトのデザインや構成がわかりにくかった
4. その他（ ）

Ⅲ 治験に関しての今後の望ましい情報提供のあり方についてお伺いします。

問 20 実施されている治験情報の医療関係者（医師・CRC など）への提供方法はどのように行われるのがよいと考えられますか（複数回答可）。

1. ウェブサイトによる提供
2. 配布物などによる提供
3. 口頭による提供
4. 特に情報提供の必要性を感じない
5. その他（ ）

問 21 実施されている治験情報の研究者・開発者などへの提供方法はどのように行われるのがよいと考えられますか（複数回答可）。

1. ウェブサイトによる提供
2. 配布物などによる提供
3. 口頭による提供
4. 特に情報提供の必要性を感じない
5. その他（ ）

問 22 実施されている治験情報をウェブサイト等で専門家（医療関係者・研究者・開発者）向けに提供するにあたって、次の各項目が貴社サイト等で実装済みかどうかお答え下さい。貴社サイトで未実装の場合は、それらの項目が必要かどうかお答え下さい。また、その他必要と思われるものがあればご記入下さい。

① 実施情報の検索				
専門用語による検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
英語など多言語による検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
② 参加できる「治験」の検索				
地域検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
病院検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
特定疾患情報の検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
患者の適格基準の検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
③「治験」の内容に関して				
患者への倫理的な配慮	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
患者の費用負担	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
副作用などのリスク	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
④「治験」の経過・結果に関して				
試験の途中経過	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
試験の結果	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
参加後のフォロー	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）

その他必要と思われるもの
（ ）

問 23 実施されている治験に関して患者さんやその家族への情報提供方法はどのように行われるのがよいと考えられますか（複数回答可）。

1. ウェブサイトによる提供
2. 配布物などによる提供
3. 口頭による提供
4. 特に情報提供の必要性を感じない
5. その他（ ）

問 24 実施されている治験情報をウェブサイト等で患者さん向けに提供するにあたって、次の各項目が貴社サイト等で実装済みかどうかお答え下さい。貴社サイトで未実装の場合は、それらの項目が必要かどうかお答え下さい。また、その他必要と思われるものがあればご記入下さい。

① 実施情報の検索				
専門用語による検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
英語など多言語による検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
② 参加できる「治験」の検索				

地域検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
病院検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
特定疾患情報の検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
患者の適格基準の検索	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
③「治験」の内容に関して				
患者への倫理的な配慮	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
患者の費用負担	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
副作用などのリスク	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
④「治験」の経過・結果に関して				
試験の途中経過	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
試験の結果	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）
参加後のフォロー	実装済み	未実装⇒（今後必要	今後も不必要	何ともいえない）

その他必要と思われるもの
（ ）

問 25 実施されている治験に関する情報をウェブサイトによって提供を行う場合、どこが主体的に情報提供を行うのが望ましいと考えますか（複数回答可）。

1. 各実施医療機関 ⇒問 27 へ
2. 病院機構・日赤・医療法人などの医療グループの本部
3. 国立医療研究機関
4. 製薬企業
5. 学会や学術団体
6. 国・地方公共団体
7. PMDA（医薬品・医療機器の品質評価を行う政府機関）
8. その他（ ）



（※回答 1 以外を選択した方のみ、それ以外を答えた方は問 27 へ）

問 26 貴社の情報提供サイトとはどのように関連を持たせればよいでしょうか。

1. 外部組織（国・研究所・学術団体・その他）などで単一に情報を集約し、貴社ではそこにリンクを張る
2. 外部組織で作成された情報ページを、各機関がミラーとして管理する
3. 外部組織で作成された情報を、各機関で独自に加工して提供する
4. 外部組織とは独立して、各機関で必要な情報だけを独自に作成・提供する
5. その他（ ）

問 27 治験の情報だけでなく、一般的な医療情報も含めた情報アーカイブについてお伺いします。情報の蓄積とその扱いはどのようにあるべきと思われますか。

1. 各実施機関が各々に医療情報をアーカイブし、特に共有等はいらない
2. 各実施機関が各々に医療情報をアーカイブし、必要に応じて共有する
3. 特定の機関が一元的に医療情報をアーカイブし、各機関はリンク等で共有する

4. 特定の機関が一元的に医療情報をアーカイブし、各機関のリンクはなくて良い
5. その他（ ）

問 28 治験情報を提供する際に、提供を容易にする・質を保証する（Quality Control）ために定まっていることが望ましいものはありますか（複数回答可）。

1. 治験情報提供を行う標準化された項目セットがあると良い
2. 治験情報提示のための規範やガイドラインがあると良い
3. 情報提供のツールキット、作成・実施ガイダンスがあると良い
4. 治験情報提供に対する標準化された評価法があると良い
5. その他（ ）

問 29 治験情報の収集・提供に関して、治験情報を共有する方法として望ましいのはどれでしょうか。

1. 公開可能な必要最小限の情報のみを共有すべき
2. 国の指針などのもと、国や国立研究機関などで詳細な情報を収集・管理すべき
3. 関係のある機関間でのみ詳細な情報を共有すべき
4. 個人情報などに触れないものは全て公開・共有すべき
5. その他（ ）

問 30 治験情報の収集や提供を行おうとした場合、どの程度の人的資源が必要だと思われますか？

- ① 貴社で独自に情報収集・提供を行おうとした場合：1ヶ月あたり 人× 日
- ② 他機関で一元的に情報収集・提供を行い、貴社ではその情報を利用（リンクなど）して提供する場合：1ヶ月あたり 人× 日

問 31 被験者である患者さんへの治験の結果のフィードバックは、行うべきとお考えですか？

1. はい
2. いいえ ⇒問 33 へ



（※回答 1 を選択した方のみ）

問 32 下記の各々の情報について、被験者へのフィードバックについて行うべきと思われるものをお選びください（複数選択可）。

1. 参加者数および割り付け結果
2. 各被験者の有効性成績
3. 全体としての有効性成績
4. 治験で発生した副作用とその頻度
5. 治験の結論（目的通りの結論が得られたか否か）

6. 承認取得・発売時期の見込み
7. その他（ ）

問 33 治験の参加者である患者さんに対する普及啓発として、どのような情報発信が望ましいと思われますか。

1. 貴社での情報発信（ホームページ・ポスター等で）
2. テレビ・新聞など信頼性の高いメディアによる宣伝
3. 政府などによる普及・啓発
4. インターネットでの情報発信（ウェブサイト・ポータルサイト等）
5. 学校教育・生涯学習での教育による普及・啓発
6. その他（ ）

問 34 治験についての教育機会について、患者さんはいつ頃受けることができると良いと思われますか。

1. 学校教育で（義務教育）
2. 高等学校・大学
3. 市民講座など生涯学習
4. 病院などで必要と感じた時に
5. その他（ ）

問 35 治験に関する情報提供について、ご意見がございましたらご自由にお書き下さい。

Ⅳ 一般的な医療情報の提供体制と入手についてお伺いします。

問 36 貴社では、一般的な医療情報（自社製品に関する疾患・治療情報等）の提供サービスを行っていますか。

1. はい
2. いいえ ⇒問 40 へ



問 37 それらの情報提供サービスの主な方法は何ですか（複数回答可）。

1. ポスターによる掲示
2. パンフレットを配布
3. ニュースレターを配布
4. メーリングリストでの情報配信
5. 貴社ウェブサイトでの情報発信
6. その他（ ）

問 38 それらの情報提供サービスの対象は誰ですか（複数回答可）。

1. 患者
2. 医師・薬剤師・CRC
3. その他の医療職
4. 他施設の医療関係者
5. その他（ ）

問 39 それらの情報提供サービスの内容と範囲をお答え下さい（複数回答可）。

1. 病気や治療・処方薬の一般的な医療情報の提供
2. 病気や治療・処方薬の一般的な教育教材の提供
3. 貴社で製造している薬に関する情報提供・宣伝
4. 貴社で開発中の薬に関する情報提供・宣伝
5. 学会・研究会・シンポジウムなどの情報提供・宣伝
6. その他（ ）

問 40 貴社では、一般的な医療情報（自社製品に関する疾患・治療情報等）の収集・提供を行う運営部門またはコンサルティング部門はありますか。

1. はい
2. いいえ

問 41 貴社では、一般的な医療情報（自社製品に関する疾患・治療情報等）の提供ウェブサイトをお持ちですか？

1. はい
2. いいえ ⇒問 46 へ



問 42 ウェブサイト運営に関して、スタッフと人数・方法についてお答えください。

【サイト運営スタッフ】

1. 社内運営スタッフ：人数（ ）人
2. 外部業者への発注などによる運営：人数（ ）人
3. その他（ ）

【サイト作成方法】

1. 貴社社員が作成
2. 委託業者が作成
3. その他（ ）

問 43 ウェブサイト作成・運営方法に関して、参考にしたサイトや情報がございましたらお教え下さい。

[] [] []

問 44 ウェブサイトについて、利用者の方々からの評価（フィードバック）を得ておられますか。

1. はい
2. いいえ ⇒問 46 へ



問 45 どのような方法でフィードバックを得られていますか。

（ ）

問 46 普段、提供のための一般的な医療情報（自社製品に関する疾患・治療情報等）をどこから得られていますか（複数回答可）。

1. 知り合いの医師・看護師・薬剤師など医療職
2. 加入している学会や研究会
3. 医学系の専門誌
4. Medline などで検索した論文
5. インターネット
6. その他（ ）



（6.インターネットと答えた方のみお答えください。）

問 47 それはどのようなウェブサイトですか（複数回答可）。

1. 一般的な検索エンジン（Google, Yahoo!など）から検索して
2. ナショナルセンターなど積極的に情報を行っている医療機関ウェブサイト
3. 他の医療機関ウェブサイト
4. 他社（製薬企業）のウェブサイト
6. その他（ ）

— 質問は以上です。ご協力を賜り、有り難う御座いました。未記入がないかもう一度ご確認いただき、同封の返信用封筒にてご投函ください。

新しいおくすりを一日でも早く皆様のもとへ届けるために
ご協力いただけませんか？

～“臨床研究”について、アンケート調査のお願い～

“臨床研究”をご存知でしょうか？“臨床研究”は、求められている医薬品および医療機器を国民の皆様のもとへ届けるための重要な手続きのひとつであり、また医学の進歩の上で不可欠な研究プロセスです。これまで我が国では、欧米諸国と比較して“臨床研究”のスピードが遅いことが指摘されており、政府は「臨床研究・治験活性化五か年計画」を打ち出すなど、国家規模でその改善への取り組みがなされています。

このアンケート調査は、厚生労働科学研究費補助金・医療技術実用化総合研究事業（臨床研究基盤推進研究事業）「国民・患者への臨床研究・治験の普及啓発に関する研究」（研究代表者 厚生労働省国立保健医療科学院 政策技術評価研究部長 佐藤 元）の一環として行うもので、国民の皆様は“臨床研究”に関する情報をわかりやすく情報提供することにはどうしたらいいかを調べ、今後の情報提供の在り方を検討することを目的としています。このアンケート調査の結果をもとに、我が国の“臨床研究”が推進され、医薬品・医療機器を必要としている国民の皆様のもとへ一日でも早く届けることを目指しております。

以上のような目的・趣旨をご理解の上ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。尚、このアンケート調査で得られた結果により個人が特定される可能性は一切ございません。また、このアンケート調査によって得られた情報を他の目的で使用することはございません。

【問合せ先】 国立保健医療科学院 政策技術評価研究部

<http://www.niph.go.jp/soshiki/O6seisaku/surveys/>

電話：048-458-6223（直通） メール：portal-survey-O1@niph.go.jp

ご本人が記入してください。

ご本人が記入できない場合は、代理の方に代筆していただくことも可能です。

問 1 このアンケートは、どなたがご記入していますか。あてはまるもの 1 つを○で選んで下さい。

- () 1. ご本人が記入
() 2. ご本人の回答を、代理の方が記入
() 3. ご本人は長期出張中で、調査に回答できない
() 4. 心身の状況が悪く、ご本人は調査に回答できない

「3」「4」とお答えの方は、問 2 以降は回答せず、そのまま返送してください

平成 25 年 2 月 22 日（金）までにご投函ください

I 病気やくすりの情報について、おたずねします。

問 2 あなたは、病気やくすりについて、誰から（どこで）見たり聞いたりしていますか。あてはまるものをすべてを○で選んで下さい。その中で特に頻繁に見聞しているところを 3 つまで○で選んで下さい。（回答例を参考にお答え下さい）

（回答例）

- (○) 1. かかりつけの病院の医師からの話で
(○) 2. かかりつけの病院の看護師からの話で
() 3. 病院で掲示されたポスターを見て
(○) 4. 病院でもらうパンフレットを見て
(○) 5. かかりつけの薬局の薬剤師からの話で
(○) 6. 役場や保健センターの窓口での話で
() 7. 役場や保健センターで掲示されたポスターを見て

（ご回答はこちら）

- () 1. かかりつけの病院の医師からの話で
() 2. かかりつけの病院の看護師からの話で
() 3. 病院で掲示されたポスターを見て
() 4. 病院でもらうパンフレットを見て
() 5. かかりつけの薬局の薬剤師からの話で
() 6. 役場や保健センターの窓口での話で
() 7. 役場や保健センターで掲示されたポスターを見て
() 8. 役場や保健センターでもらうパンフレットで
() 9. 友人、家族から
() 10. テレビ、新聞、雑誌を見て
() 11. 医学系の専門誌を読んで
() 12. インターネット

（インターネットと答えた方）どのようなウェブサイトですか。（あてはまるものを全てに○）

- () ①厚生労働省や自治体など行政のページ
() ②病院や医療機関のページ () ③製薬企業のページ
() ④テレビ・新聞社など報道機関のページ
() ⑤病気の一般的知識や治療情報のページ
() ⑥患者さん個人のページ () ⑦口コミや掲示板
() ⑧その他 ()
() 13. その他 ()